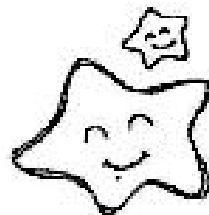


# QSK にぬふあぶし

No.315

ね  
子の方向の星(北極星)



## 宮古島に行ってきました (1)



こんにちは、沖福連の増山です。年度もあらたまったばかりの4月12日、山田会長と連れ立って宮古島まで出かけてきました。

常時、ブルブルブル振動するプロペラ機の座席に収まること小一時間、到着した島の空はよく晴れて、かつ暑すぎないくらいのちょうどいい春の気候でした。1日たっぷり借りて3千円というリーズナブルなレンタカーに乗り込み、道案内は山田会長のスマホに任せて、いざ日帰りの島めぐりに出発。

宮古空港からほんの5分、最初に訪ねたのは沖福連の事業所『ふれあいプラザ宮古』。松川所長はじめ、プラザの職員・利用者さんだけでなく、宮古島家族会のみなさんにも集まっていた、いろいろなお話を聞くことができました。

まずびっくりしたのが、たまたま出していたおかし。これを作っているのが、増山の出身地・栃木市の福祉事業所だったのです。聞くと宮古島にも事業所を展開していて、おかしも販売しているとのこと。よもや宮古島で“とち介”（栃木市のゆるキャラ）に出くわすと思っていたなかった増山は、ささやかな奇遇にテンションを上げ、「絶対この事業所にも寄って帰ろう!」と即座に決意したのでした。

プラザでは、週末に迫る全日本トライアス



ロン大会の応援準備にかりきりの様子でしたが、作業を手伝っていた利用者さんの一人でヒデキさんという方から、こし介護福祉士の試験に合格したという素晴らしいニュースを聞くことができました。すでに施設で6年ほどヘルパーとして働きながら、これまでコツコツ勉強を続けてきたということ。



働きながら資格の勉強をすることの大変さは、誰も想像できると思います。今回、勤めている施設の同僚何名かと試験を受けたということですが、合格できたのはなんとヒデキさんただ一人だったそうです。すごい! おめでとうございます!

仕事がお休みの日などにはこうして地域活動支援センターにも遊びにきているということで、プラザではそんな利用者さんが少なくないということでした。

さて、ふれあいプラザ宮古は、金曜と祝日がお休みなだけで、土日も終日開所しています。週末も開けている福祉事業所が他にほとんどないこと、最近では島の病院がデイナイトケアをやめてしまったということもあって、ますますプラザの利用ニーズが増えてきているのです。

少ない人数でまわしている職員さんたちは休みも自由にとれないというので、「もう思い切って土日お休みにしたら?」という提案もしたのですが、「施設の強みだから」「職員みんな働き者だから」と現状を維持したい気持ちを話していました。

手前ミソを承知で書かせていただくと、大切な居場所として、プラザが地域でとても必要とされていることを強く感じました。これもまたヒデキさんの快挙と同じように、一朝一夕ではなく、積み上げてきた努力と工夫、苦労の結果にほかならないに違いありません。

(次回につづく)



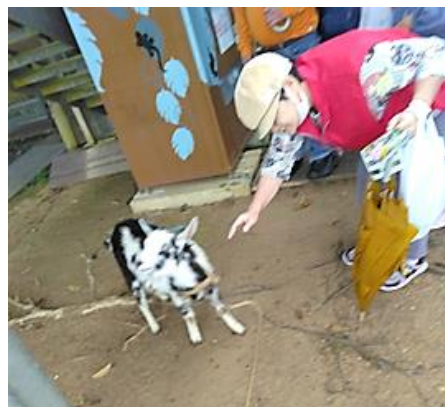
## 春の土曜日、お花いっぱい『ビオスの丘』



てるしでは4月22日(土)、レク活動でう  
るま市にある『ビオスの丘』におじゃましてき  
ました! 着いた時間はあいにくの雨でしたが、パ  
ンフレットとはぜんぜん違う園内の雰囲気が見  
られて、それもまた良し。ちなみに傘のレンタル  
もあるので、安心して園内を散策できました。

この時期は、蘭  
の花がいちばん美しく咲く季節らしく、園内にはたく  
さんの珍しいお花が咲き誇っていました。私は胡蝶蘭と  
デンファーレしか知らないのですが、こんなにもいろ  
んな蘭の種類があると知って感動です。

園内にはヤギ、あぐー、水牛などの動物もいて、触  
れあうこともできました。若い子たちのヤギを見た反  
応は「かわいー!!♡」でしたが、先輩方はみんな揃っ  
て「おいしそー!!」……(汗)。それから湖水鑑賞船に



乗って、亜熱帯の植物や動物を鑑賞できるジャングルクル  
ーズも体験。ふだん見ることのできない植物を目にすることがで  
きて、癒しのひと時となりました。

ちなみに『ビオスの丘』では、てるしの就労支援を利用して  
就職した利用者さんが働いています。一緒に案内もしてく  
れて、久しぶりに元気な顔を見ることができました。

季節によって楽しめる植物が違うので、機会があれば次は  
冬の時期に行きたいなー♪ と楽しみがひとつ増えました。  
(てるしの比嘉)

てるしのワークセンターの活動の様子や商品など、インス  
タグラムでも紹介しています。一度覗いてみてください!!



TERUSHINO\_OFFICIAL

## てるしのワークセンター 発信～地域へ

2022年12月から4ヶ月間に渡って、南風原郵便局内のフロアにて、『てるしのワークセンター』ではパンの無人販売をさせていただきました。

短い期間でしたが、パンを購入していただいた地域のみなさまと局員の方々に、心より感謝いたしております。ありがとうございました。

地域の方から「きのう郵便局でパンを買ったよ～」と声をかけられたり、「キャラクターもののパンを孫が喜んで食べていた」など直接お電話を頂戴いたしました。

配達も、我先にと競い合って喜び参加してくれる利用者の姿に、「仕事」の本質を感じることが出来ました。

当法人では「何度でもチャレンジすることのできる地域社会の実現を目指しています」。これからも、美味しかったと言ってもらえる製品をお届けいたします。

2023年4月、感謝。

担当の仲本政師および職員・利用者一同



### ◎編集後記◎

カナダのインディーズゲーム『スピリットフェアラー』をプレイした。主人公は三途の川の新任渡し守で、いろいろな人物と船旅をし、交流を通して彼らを成仏へ導いていく。人々は動物の姿をしているが、本当は緩和ケア病棟の重症患者たちだ。主人公は実は看護師で、彼ら一人一人と絆をかわし、見送り、別れを繰り返す。ジャッキーというキャラが出てくる。初見、不快で到底好きになれそうもない人物だったが、そんな彼との別れがいちばん切なくて涙を誘った。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail [terushino@castle.ocn.ne.jp](mailto:terushino@castle.ocn.ne.jp)

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領 1丁目12番4号

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)